

令和7年度学校経営の重点

1 学校経営の重点

(1) 教育方針

校訓「自主、敬愛、創造」のもと、自立して生涯にわたって夢や目標に挑戦し、ふるさとを愛し、他者と協働しながら、地域社会を切り拓く有為の人材を育てるために、「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」の育成を図るとともに、「公共の精神」と「郷土を愛する心」を養う。

(2) 教育目標

○ 活気に満ちた安心安全な学校づくり

- ア 生徒理解を根本に据え、自己有用感・自尊感情を高める教育を推進する。
- イ 生徒の学習意欲を引き出し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びができる授業づくりに取り組む。
- ウ 進路希望等に応じた教育課程の編成および就業体験事業等によりキャリア教育の充実を図る。
- エ 生徒会活動や部活動を活性化させ、多様な個性や能力を伸ばすとともに、心が通い合い、互いに支え合うことができる集団づくりを推進する。
- オ 家庭や地域と連携し、生徒の安全を守る体制づくりを進める。

○ 豊かな人間性と社会性を育む学校づくり

- ア 基本的な生活習慣の確立を図り、望ましい規範意識や道徳性を養う。
- イ 心身の調和のとれた発達を支援し、生命・健康・安全に対する管理能力を高める。
- ウ 学校・家庭・地域が一体となった様々な体験活動を通して、豊かな人間性と社会性を育む。
- エ 環境教育や愛校作業の充実を図り、環境を大切にする意欲や愛校精神を育む。
- オ 歴史・文化に関する体験学習やふるさと貢献活動を通して郷土愛を育て、社会の一員としてより良い生活を築こうとする自主的・実践的な態度を育てる。

○ 地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくり

- ア 学校評議員制度や学校評価システムや今年度より立ち上げるコミュニティ・スクールを活用し、保護者や地域の意見を学校運営に生かすとともに、説明責任を果たす。
- イ 小規模校の特徴を生かし、特色化をより一層強め、魅力にあふれた存在感のある学校づくりを推進する。
- ウ オープン・ハイスクール等の行事や学校ホームページの充実により、情報発信力を高め、本校に対する保護者・地域・近隣中学生の理解を深める。

(3) 本年度に重点を置く事項

- ア 生徒の学習意欲を引き出し、基礎・基本の確実な定着を図るとともに、生徒が主体的・対話的で深い学びの授業づくりに取り組む。
- イ 地域及び地元の企業と連携して、誇りと熱意を持ってふるさとで生きる生徒の育成をめざすキャリア教育を推進する。
- ウ 少人数指導により 生徒一人ひとりの心と向き合い、丁寧な進路指導を推進する。
- エ 心に届く生徒指導を推進し、いじめや不登校の未然防止に係る重層的支援を進めるとともに教員のスキルアップを図る。
- オ 生徒会活動や部活動等を活性化し、生徒の多様な個性や能力を開発する。
カヌー部を特色ある部として位置づけ、地域との連携を深め、活動を推進することにより、学校全体の活性化にも繋げる。
- カ 学校行事や総合的な探究の時間、様々な実習また地域での活動を通して、生徒のコミュニケーション能力、協働する力、課題解決能力を高めるとともに、校内や校外で発表することで発信力を育成する。
- キ 全職員が一体となって、特別に支援が必要な生徒にきめ細かい教育的支援が行えるよう関係機関との連携を深め、校内体制づくりを行う。
- ク キャリア教育類型の目指す目標を踏まえ、生徒募集や教育課程のさらなる充実を図る。